



竜西小だより

令和8年度 竜北西部小学校 第5号

文責 校長 山崎 知博

学校HP <https://es.higo.ed.jp/ryuhokuw/>

【随時更新中です。是非ご覧下さい！】

学校教育目標 自分・相手・まわりを大切にし、一人一人が輝く 竜西っ子～ふるさとを愛し、多くの人から応援してもらえる児童の育成～

明けない夜はない！ともに乗り越えていきましょう！～令和8年熊本地震を通して考える～

(1) 地震発生直後からこれまでにについて

7/28(火)夕方に発生した地震により、熊本県全体では38名(8/23時点)の方がお亡くなりになりました。尊い命が失われたことに対して、心よりお悔やみ申し上げます。また、被災された全ての皆様に心よりお見舞い申し上げます。

本校児童につきましては、保護者の皆様の御協力により、130名全員の無事がすぐに確認できました。しかしながら、御自宅等大きな被害を受けた御家庭もあり、これまで大変な状況の中で過ごしてこられたことと思います。一日も早く、平穏な日常が戻ることをお祈り申し上げます。

本校も、校舎内の各教室、職員室、校長室、事務室等大きな被害を受けましたが、全職員で力を合わせて片付けを行い、現在ではほぼ元の状態に戻すことができています。

また、本校は、救援物資配付所(体育館)及び避難所(多目的ルーム、黒潮ルーム、1年教室、2年教室、3年教室、4年教室、そよかぜ教室、ミーティングルームを使用)となりました。救援物資を取りに来られた方が受け取りやすいように、避難されている方が安心してゆっくり過ごせるように、学校としても町職員の方々等と協力しながら、力を尽くしてきました。

(2) 日本全国からの支援に感謝！

避難所及び救援物資配付所となった本校には、日本全国から様々な支援が届きました。また、地震発生直後から毎日運動場に来てもらっていたトイレカーや給水車も、大変ありがたいものでした。

さらに、キッチンカーなどによる炊き出し等の支援もあり、その周りには多くの地域の方々の笑顔が見られました。

長い時間をかけて本校まで支援を届けに来てくださったにも関わらず、「先生方は休まれていますか?」「先生方も無理をされないようにしてください」という温かい言葉をかけていただくこともありました。

(3) たくさんの「元気」をもらいました！

8/16(日)の朝、本校にくまモンが来てくれて、その場にいた子どもたちや地域の方々、避難されている方々を元気づけてくれました。また、その日の午後には、竜北中体育館にサッカー日本代表森保一監督が来校しました。本校児童も多数参加して、笑顔で写真撮影等を行っていました。

夏の全国高等学校野球選手権大会には熊本県代表として有明高校が出場しましたが、ベスト8という結果だけでなく、「自分たちのプレーを通して被災された方々をはじめとする県民に元気を与えたい」という言葉、姿には心打たれるものがありました。

(4) 9/1(火)の学校再開に向けて

年度当初の予定からは1週間遅れましたが、9/1(火)の学校再開が決まりました。2学期の始業に向けて、現在全職員で準備を行っているところです。8/21(金)から4日間「竜西っ子学びの場」の取組を行いました。毎回20名前後の児童が参加してくれました。元気な姿を見ることができ、とてもうれしかったです。まだまだ大変な状況の方も多いと思いますが、明けない夜はありません！竜北西部小学校は、児童一人一人の安心・安全を第一に、これからも力を尽くしていきます。ともに乗り越えていきましょう！



校舎内外も様々な被害がでました



職員で片付けを行い、
ほぼ元の状態に戻っています



断水が長期間続いたことは、
生活に大きな影響を与えました



本校各教室は避難所に、体育館は
救援物資配付所になりました



本校職員も、避難所支援、救援物資配付支援等を行いました



日本全国様々なところから、たくさんの支援をいただきました！



8/16(日)には、くまモンも
来てくれました！



「竜西っ子学びの場」で
学習に取り組む児童の様子です